

## 効果的な消費者教育手法と効果測定（中学校）

生徒が楽しみながら身に付けることができる、  
全国の中学校で参考となる、  
中学校家庭科における効果的な消費者教育手法の検討

### 講義方式（文京区消費生活センター相談員による出前講座）

- ・消費生活センターの紹介
- ・迷惑メール、架空請求、化粧品のキャッチセールスなどの事例紹介
- ・困った時は先生、保護者、消費生活センターに相談
- ・ワークシートにまとめる。

### ゲーム方式（悪質商法対策ゲーム）

- ・様々な悪質商法の事例とその基本的な対処・対策について、すごろくとカードを用いたゲームに取り組む。
- ・クーリングオフや消費生活センターの役割、契約の基本を学ぶ。
- ・ワークシートにまとめる。

東京都内の2校の中学校（第1学年）で実施・検証。

### ロールプレイ方式

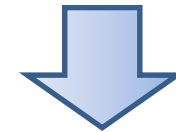
- ・架空請求とキャッチセールスについての場面を設定し、販売員・消費者・消費者の友達を3名が演じ、残りが記録・アドバイスをを行う。
- ・騙している時の気持ち、消費者とその友達の気持ちについてディスカッションを行う。
- ・ワークシートにまとめる。

### グループワーク方式

- ・「断るチカラの磨き方」(DVD)の視聴
- ・騙し手・消費者・観察者に分かれて、断り方を体験する。
- ・幾つかの班の断り方の発表を聞く。
- ・ワークシートにまとめる。

アンケート等による効果測定

先進的な教育手法の抽出



先進的な教育手法を全国に周知  
生徒の印象に残る消費者教育の実施



消費者被害・事故に遭わない消費者の育成